

令和2年度

# 成果報告会

日時

令和3年

3/17〈水〉 10:00 ▶ 16:00

事前参加登録

オンライン開催 (zoom)

〈参加登録はこちら〉

<https://forms.gle/pQKmeAebFzBWbj878>



## Program

10:00~10:10 開会の挨拶  
柴 博史 (筑波大学形質転換植物デザイン研究拠点長)

10:10~11:20 特別講演 CRISPR/Cas9技術による機能性トマトの開発と未来  
江面 浩 (筑波大学T-PIRCセンター長)

11:20~11:40 マーカー遺伝子の発現変動を指標とした  
新奇の組織培養条件最適化法の開発  
大谷 真広 (新潟大学)

11:40~12:00 多植物細胞を用いた植物特異的な細胞分裂様式の解析にむけて  
佐々木 武馬 (国立遺伝学研究所)

12:00~13:00 休憩

13:00~13:20 マメ科植物における青色光に依存した葉の光定位運動の  
分子機構の解明  
井上 晋一郎 (名古屋大学)

13:20~13:40 サリチル酸シグナルの主要制御因子であるNPR1が標的とする  
新規転写因子の探索  
野元 美佳 (名古屋大学)

13:40~14:00 トマトを利用した「非典型的」ストリゴラクトンの機能解析  
瀬戸 義哉 (明治大学)

14:00~14:20 CRISPR/Cas9による糖鎖遊離酵素遺伝子欠損トマトの構築  
前田 恵 (岡山大学)

14:20~14:30 休憩

14:30~14:50 特定網室における高速型ミオシンによる植物大型化の評価  
富永 基樹 (早稲田大学)

14:50~15:10 遺伝子組換えによるジャトロファの種子大型化  
本橋 令子 (静岡大学)

15:10~15:30 効果的なコミュニケーション活動のための情報基盤整備  
山口 富子 (国際基督教大学)

15:30~15:50 ゲノム編集技術に関する認知度推移と消費者受容  
齋藤 陽子 (北海道大学)

15:50~16:00 閉会の挨拶  
渡邊 和男 (筑波大学)

【主催】



つくば機能植物イノベーション研究センター

Tsukuba-Plant Innovation Research Center



遺伝子実験センター

形質転換植物デザイン研究拠点



<https://gene.t-pirc.tsukuba.ac.jp>